

「第4回防衛力の実効性向上のための構造改革推進委員会」
及び「第4回人的基盤に関する改革委員会」
議事要旨

1 日時

平成23年7月4日（月） 1600～1730

2 場所

防衛省 A棟11階 第1省議室

3 出席者

小川防衛副大臣 松本防衛大臣政務官 広田防衛大臣政務官 西元防衛大臣補佐官
事務次官 大臣官房長 防衛政策局長 運用企画局長 人事教育局長 経理装備局長
地方協力局次長（地方協力局長代理） 衛生監 技術監 鈴木審議官 筒井審議官 統
合幕僚長 陸上幕僚長 海上幕僚長 航空幕僚長 情報本部長

4 小川副大臣冒頭発言

構造改革全体の検討対象は非常に広範多岐にわたり、且つ、各検討課題のいずれも重要な課題ばかりである。

今回はテーマを区切った形で集中討議を行うこととし、テーマは『統合による機能強化・部隊等の在り方検討』、『人的基盤に関する制度改革の推進』、『衛生機能の強化に関する検討』の3つのテーマについて積極的に議論したいと考えている。

特に以下の3点について議論してもらいたいと考えている。

陸海空の自衛隊が一体となって有機的に対処するために統合運用体制や各自衛隊の能力がどのようにあるべきか

防衛力を構成する人的基盤について厳しい財政事情や少子化という制約の中で如何に精強性を向上させていくべきか

衛生機能というものがこれまで重要視されていながらきちんと位置づけられて来なかったのではないか

まずは短期的に解決可能なところから取り組むとともに、中長期的課題については今後の検討の方向性を示すことが重要と考えている。

5 議事概要

統幕計画課長、人事計画・補任課長、衛生官から検討状況を説明

6 自由討議

ア 広田政務官冒頭発言

統合による機能強化・部隊等の在り方については、指揮統制、機動展開が重要課題であり、引き続きしっかり検討することが必要。

人的基盤に関する制度改革については、「人はコストではなく、戦力である」という議論がある一方で、少子化と財政的に厳しく定員が管理されている中で、後方任用制度、早期退職制度、募集・援護といった検討課題について、方向性を示し、どう見直していくのかということが問われている。

衛生機能については、第1回の衛生機能強化に関する委員会でも様々な議論があり、忌憚のない意見の中で衛生部門の重要性というものが共有できたと感じている。

イ 指揮統制について

主な意見概要等

指揮統制機能の強化については、財源等の様々な状況を考えると、現体制の統合幕僚監部を強化していくということが当面やれること、やるべきことではないか。

中央組織だけではなく地方組織、少なくとも主要部隊司令部のところまで考える必要があり、財源等の問題を考慮し、中央と地方のバランスを考えて検討することが必要。

有事を考えた場合、在日米軍司令部等のカウンターパートとしての機能についても検討の中に入れていく必要がある。

増強要員の平素からの指定や訓練等について、南西地域や首都圏等で災害が発生した場合等も念頭において、具体的な方策を検証する必要がある。

限られた人員・予算の中で考えた場合、各隊員に対して平時の任務に加えて、災害や有事の際の任務を明確にして、平素から訓練を行うことが必要。

統幕の強化について、第1段階として、有事の際に各幕や各自衛隊の学校等から統幕に臨時増強するということを平素から制度化するとともに、第2段階として、平素からの現体制の機能強化についても並行して検討していくことが必要。

有事の増強要員が戦力化されるまでには時間を要し、初動の方向付けや展開に間に合わないというジレンマがある。平時から訓練等を行うことで緊急時にも対応できるように準備する必要がある。

統合の機能強化は、統幕、陸海空自衛隊も含めバランスをもって検討していくことが重要と認識しているが、今回の震災対応を通じて陸上自衛隊の運用を総括する機能についても検討が必要である。

陸上自衛隊は、今回の震災対応で司令部等へ約400名の増強要員を送り込んだが、いざとなれば、このくらいの人間をかき集められないと長期戦には耐えられない。

ウ 機動展開について

主な意見概要等

機動展開について、想定する場面や期待する機能によって、部隊の持ち方が全く変わってくる。今ある陸海空の部隊の戦力編成についてどのようにバランスや優先順位をつけるのかといった検討が今後必要となる。

海自の大型輸送艦はおおすみ型3隻であり、非常に限られている。財政上あるいは人的な制約の面を考慮し、民間の輸送力も取り入れるというような観点も含めて検討していくことが必要。

民間の輸送力を緊急調達できる制度を確立することが必要であり、その制度の研究を進めていくべきである。

各種法令等の制約に対する措置の検討等を含んだ中長期的な課題ではあるが、せめて中期防くらいでなんらかの結論を出すという目標設定があった方が良いのではないかと。

事前展開、緊急展開における民間の輸送力の活用については、自衛隊の輸送力との割合や、活用の枠組みに関する政府全体の対応も含めて様々な検討が必要である。また、戦闘を伴う展開については、自衛隊の輸送力のみで対応するため、統合輸送能力の向上といった観点から検討することが必要。

輸送等を担う展開部隊を保持するにしても部隊を改めてつくるのであれば財源が必要である。これまでに、人員等も削減されている状況もあり、部隊をリフォームし、機動展開がうまくいくような部隊を考えていくことが必要である。

エ 後方任用制度について

主な意見概要等

後方任用制度については、士気の問題、組織の戦力化の問題等を考慮し、退職者を活用する等の検討をすることが必要。

オ 衛生機能について

主な意見概要等

衛生機能の強化について、有事の観点から検討することが必要であり、統合部会の統合衛生の検討との整合性を図ることが必要である。特に、有事における全体作戦の中で衛生機能の何が不足しているのかを見積り、幅広く検討を深化していくことが重要である。

医官の継続的な能力の向上や人材育成のための制度が弱いということが大きな課題であり、組織としてきちっとした制度とプログラムを強化するという前提で新しい仕組みを作ることが必要。

カ サイバー攻撃対処について

主な意見概要等

サイバー攻撃対処の国際協力を考えていくと、日本は遅れていると感じており、政府全体としてのサイバー攻撃対処への取り組みをどうするかということについて、何らかの形で考えていく必要がある。

キ その他

主な意見概要等

財政や少子化等の大変厳しい状況が前提としてあるが、やはり人をどうシェアするのかというのが一番の課題。

限りある資源と厳しい状況の中で、やらなければいけないことは何なのか、やらなければいけないことは辛くてもやるのだ、ということを確認しあいながら建設的に議論を進めることが必要。